



特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

第 20 回 通常総会

日 時：令和 2 年 6 月 14 日（日）10：00～12：00

会 場：特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動 事務所
（東京都中央区日本橋浜町 2-25-3）

通常総会次第

1. 議長選任の件（含：定足数確認）
2. 議事録署名人選任の件
3. 審議事項
 - (1) 令和元年度事業報告書（案）の件 P 6
（「参考：令和元年度事業の報告」）
 - (2) 令和元年度活動計算書（案）の件 P15
・（事業並びに収支および個人情報保護についての監査報告）
 - (3) 監事選任について P22
 - (4) 東京都・法務局等への提出・申請書類の字句修正付託の件
4. 報告事項
 - (1) 令和 2 年度事業計画書の件 P23
 - (2) 令和 2 年度収支予算書の件 P27
5. その他
 - ①役員変更について P32
 - ②書面表決について

以 上

令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

1 事業の成果

本年は、明るい社会づくり運動提唱50周年を迎え、平成31年4月27日(土)にメルパルクホール(港区芝公園)で「提唱50周年記念大会」を開催し、当日は全国から1,554人が記念大会に参加した。大会の中で、これからの明社運動の方向性が「大会宣言」として明示され、明るい社会づくり運動への今後のあり方が共有された。また、同日開催(4月27日～28日)された全国都道府県情報交換会では、大会宣言文の確認と具体的活動なあり方が話し合われ、全国への周知が図られた。

本運動の推進を図ることを目的とした『明社ミーティング』は、3会場(奈良、青森、石川)で行われ、提唱50周年記念大会の様子と大会宣言文の内容が確認された。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益の対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
明るい社会づくりの精神を啓発・普及する為の情報の収集と提供	シンポジウム事業 「全国都道府県情報交換会」	平成31年4月27日(土)～28日(日)	東京都港区	16人	会員 91人	3,481
	啓発・普及事業 ①明社ミーティング	令和元年6月23日 令和元年10月27日	奈良県橿原市 青森県青森市	1人 1人	会員 28人 会員 27人	144
	②講師派遣と相談サービス	令和元年6月8日～ 令和2年2月27日	静岡県浜松市 他9か所	9人	会員 一般市民 580人	424
	情報収集・提供事業 「機関誌」	年3回 7月・10月 1月	法人事務所	5人	会員 寄付者 一般市民 22,678人	2,581
	ネットワーク管理・推進事業 「WEB等のIT」	随時	法人事務所	2人	会員 一般市民 不特定多数	429
明るい社会づくり運動に関する調査・研究の推進	調査・研究事業 ①地区明社の情報収集 地区発行の広報誌・記念誌等の発行物を保管しつつでも閲覧できるように管理するとともに、各県にも情報を提供した。	随時	法人事務所	5人	会員 一般市民 不特定多数	0
	②諸団体主催の事業への参加 他団体主催のセミナー事業等に参加し、他団体との協働の在り方などを学んだ。	令和元年5月8日～ 令和元年8月31日	東京都新宿区 他3か所	5人	事務局9人	66
	③情報収集 情報収集のための、刊行物の定期購読を行った。	随時	法人事務所	5人	役員 事務局 17人	7

明るい社会をつくる為に活動している国内外の諸団体との交流・協力活動の推進	諸団体協働事業 ①歳末助け合い募金 大阪府地区明社連合会傘下の24地区と協働して、歳末助け合い募金を行った。	令和元年12月5日 ～12月21日	大阪府内主要駅前等68か所	1,300人	一般市民 不特定多数	43
	②子供音楽会 子供が気軽に楽しめる「第4回子ども音楽会 in びえい」と子供からお年寄りまで楽しめる「第6回ファミリーコンサート」を行った。	令和2年1月27日 令和2年2月16日	北海道美瑛町 北海道旭川市	40人	一般市民 1,200人	458
	③明社人みんなでゴミ拾い2019 報告書提出のチラシを送付し、実施報告書を機関誌「はーとふる」秋号に掲載した。	随時	27都道府県	4,382人	一般市民 不特定多数	72
	④ラオスに井戸を送る運動 日本国際ボランティアセンターへ協力し、未使用ハガキの回収を行った。	随時	法人事務所	2人	会員 一般市民 不特定多数	2
	青少年交流事業 「明社レンジャー」	平成31年4月27日～12月22日	東京都港区 他8か所	20人	会員 一般市民 不特定多数	14
明るい社会づくりの精神を啓発・普及する為のセミナー・シンポジウム・講演会・大会の開催	講演会事業 ① 提唱50周年特別記念大会	平成31年4月27日	東京都港区	85人	会員 1,554人	3,142
明るい社会をつくる為に活動している国内外の諸団体との交流・協力活動の推進	地域協力事業 ① ボランティア活動	令和元年5月11日～12月29日	宮城県南三陸町 他4か所	21人	地域住民 250人	1,353
	② 植樹活動	令和元年8月5日	宮城県南三陸町	43人	地域住民 1,300人	86
明るい社会づくり運動を推進する為の人材養成	人材養成事業	令和元年6月29日～11月24日	岩手県盛岡市 宮城県石巻市 気仙沼市	4人	会員 10人	930

令和元年度の事業報告（参考 - 詳細報告）

事業の実施に関する事項

1. シンポジウム事業「全国都道府県情報交換会」

明社運動の方向性や事業のあり方を共有し、全国都道府県の方々と意見・情報交換を行い、より一層の繋がりを図ることを目的に開催した。

日 時：平成 31 年 4 月 27 日（土）～4 月 28 日（日）

会 場：メルパルク東京（東京都港区芝公園）

内 容：第 6 回目の今年は、1 都 1 道 2 府 32 県・役員・スタッフ等、合計 106 名が出席した。

1 日目は、「提唱 50 周年特別記念大会」がメルパルクホールで開催され都道府県会議参加者は全員大会に参加した。

2 日目は、午前 8 時半から開始し、当日は、大阪府地区大東フレンドフォーラムの大岸清氏による「マイクロプラスチック問題」をテーマに講演が行われ、その後のグループ討議では「地域の環境問題」について活発な意見交換が展開されました。

また、前日（4 月 27 日）の「提唱 50 周年特別記念大会」で発表された「大会宣言文」をグループごとに確認し、参加者からの質疑に沼田壽雄理事が回答し、「各地区で『大会宣言文』について学びを深めて下さい」と結んだ。



2. 啓発・普及運動事業

(1) 明社ミーティング

時代にあった市民活動のあり方などを研鑽し、情報交換並びに意見交換を通して、運動の推進を図る共に、提唱 50 周年大会宣言のこれからの明社運動への取り組みの浸透に努めた。

□奈良県明社ミーティング開催

奈良県明社(村上良雄会長)の5ブロック協議会28名が参加。令和元年6月23日 橿原万葉ホールで地域ミーティングを開催した。午前中は「これからの明社運動」として全国明社原良次理事から学び、午後は各ブロックの現状と課題について話し合われた。さまざま課題の中で結論は出ないが、全ブロックがこれからは市民と共に活動していくことが重要であることが確認された。

□青森県明社ミーティング開催

令和元年10月27日(日)青森県協議会(村田志朗会長)は、ホテルアベスト青森を会場に、青森県4地区代表27人が参加して明社ミーティングを開催した。内容は、午前10時よりむつ下北地区の川口毅会長より「青森県の防災について」と題して、青森県を中心とした過去の地震、津波の現状を資料に基づいての説明があり、今後の地震津波に対する心得と防災についての話を受け質疑応答を行った。その後、日頃の活動紹介が発表された。午後からは、全国明社原良次理事より「明社運動の実情と未来について」の講演があり、それぞれグループ別に討議を行い、明社運動の目的とこれからの運動のあり方が話し合われ、討議内容が発表され最後に原理事よりの講評が行われミーティングは終了した。



(2) 講師派遣と相談サービス

総会での講演や研修会講師および相談等、要請のあった県明社・地区明社10か所に対し、全国明社役員・事務局員等、延べ12人を講師・アドバイザーとして派遣した。場所・内容は以下のとおり。

内 容	6月	8月	9月	10月	11月	1月	2月	計
学習会講師	中和 (奈良)	山形		帯広	徳山	京都		5
総会講演	浜松 松山							2
講演会			大阪		金沢			2
相 談							世田谷	1

3. 情報収集・提供事業

(1) 機関誌はーとふるの発行

全国各地で展開されている本運動の広報ツールとして機関誌「はーとふる」は、昨年の「提唱 50 周年」を機に表紙・内容を刷新し、春・夏合併号を 8 月、秋号を 10 月、冬号を令和 2 年 1 月に発行した。春夏合併号においては、「提唱 50 周年記念式典」のようすを紹介し、新企画としての「われら明社人」は、各地の明社を訪ね、活動や課題点を Q&A 形式で掲載した。前期のゴミキャンペーンや明社レンジャーの活動紹介は継続とした。

機関誌『はーとふる』2019 年 発想部数一覧				
発 送 先	春夏合併号	秋 号	冬 号	合 計
(1) 会 員				8,000 部
①運営会員	64	64	65	
②個人賛助会員	530	528	528	
③団体賛助会員	1,304	1,260	1,349	
④終身会員	34	34	34	
	(1,932)	(1,886)	(1,976)	5,794 部
(2) 贈呈				
①都道府県 NPO センター	114	114	114	
②都道府県明社(希望部数)	4,231	4,231	4,231	
③地区明社(県からの配布なし)			145	
④はーとふる取材分	56	11	43	
⑤外部団体	30	31	31	
	(4,576)	4,532	(4,564)	13,627 部
(3) ご愛読	730	710		
(4) 協力団体	310	330	330	970
全国教会(238)、教務員(34)、庁舎(38)				
発送部数 総合計	7,481	7,391	7,840	22,678

4. ネットワーク管理・推進事業

WEB 等の IT 活用

ホームページは 1 年間にわたってリニューアル工事をし、昨年 4 月 15 日に公開。「各地の運動」はフォーム上からの投稿ができるようにした。また、組織活動だけではなく「みんなの活動」を設け、個人の投稿が可能となった。「メールマガジン」は、現在、休止としている。理由は読者数が伸びないことが理由の一つとして挙げられ、Facebook を活用することで十分に補えると考えられる。なお、運営会社からの定期的な月間サマリーと分析結果によると、タブレット、モバイルの読者が増えていることがわかる。フォロワー数も 8 割増しとなった。掲載記事の回数は以下の通り。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
地区明社	10	2	3	11	2	4	3	15	5	6	2	1	69
全国明社	2	2	1	4	2	1	2	3	0	0	1	0	18
Facebook	0	4	1	2	6	4	5	2	1	0	0	0	25
メルマガ	休止中												

5. 調査・研究事業

(1) 地区明社の情報収集

地区発行の広報誌・記念誌等の発行物を保管し、いつでも閲覧できるよう管理すると共に、各県にも情報を提供した。

県版機関誌の発送 2 回(はーとふる春夏合併号、秋号に同封)

(2) 諸団体主催の事業等への参加

他団体主催のセミナー事業等に参加し、他団体との協働の在り方などを学んだ。

- ①公益財団法人日本駆け込み寺セミナー 2 回 4 人
- ②石巻祈りの集会 2 人
- ③アフリカの新たなビジョン 4 人
- ④WCRP 学習会(環境変動に関する学習会) 1 人
- ⑤災害支援後援会(野口 健) 1 人

(3) 情報収集

情報収集のため、刊行物の定期購読を行った。

6. 諸団体協働事業

(1) 地域協働事業

① 歳末助け合い募金

令和元年 12 月 5 日～12 月 21 日大阪府地区明社連絡会傘下の 24 地区と協働して、大阪府内主要駅前等 68 か所で歳末助け合い募金を行った。

② 明るい社会づくり運動旭川地区推進協議会 (仁木英雄会長) と協働して、青少年育成事業を行った。

□ 『第4回こども音楽会 in びえい』

今年は、「美瑛町開基120周年」にあたり、会場には親子連れの町民370人程が集まりお祝いムードを盛り上げた。この音楽会は「小さな子供たちも気軽に楽しめる演奏会を！」との思いから、実行委員長の中山洋明さんの呼びかけに旭川明社が全面協力、全国明社の協働事業として美瑛町教育委員会の後援を得て行われたもので、今年も地元幼児クラブ「ジャズファンクサークルBIEIチームAMK」から始まり、美瑛小学校のスクールバンドが演奏を披露した。こども音楽会にふさわしいプログラムであった。最後に特別出演として「旭川交響吹奏楽団」が演奏を披露。音楽会の最後は、美瑛小学校スクールバンド、美瑛中学吹奏楽部を交え、旭川交響吹奏楽団との合同演奏が行われた。総勢55人の演奏は、普段の舞台では狭く、仮設舞台を設置しての演奏となった。子どもたちは、憧れの旭川交響楽団との演奏で感激の声を漏らしていた。



□ 『第7回ファミリーコンサート』

明るい社会づくり運動旭川地区推進協議会 (仁木英雄会長) は、令和年2月16日(日)旭川市公会堂を会場に「第7回ファミリーコンサート」を開催した。このコンサートは、旭川市教育委員会の後援のもと、音楽を通して青少年の豊かな心・情操を育み、家族ぐるみで楽しんでもらうことを目的に開催されている。今年は、暖冬により雪も少なく、当日は晴天の中で開催された。

ジョン・フィリップ・スーザ作曲の「ワシントンポスト」の演奏で始まり、森の音楽隊の曲に合わせて様々な楽器の紹介がされ、「わが心のフォスター」「汽車ポッポ」「この道」そして「花」の演奏で第1部が終了した。休憩後の第2部は、恒例のキャラクターでの演奏。今年は、ドラえもんメドレー。子ども達と共に「ドラえもん」と叫ぶと、どこでもドアからドラえもんのお面をつけた指揮者が登場。子どもたちの歓声を受けた。

その後は、ジャパニーズグラフィティ18「アニメヒーロー大集合！」続いてジャパニーズグラフィティ17「美空ひばりメドレー」が演奏され、子どもから大人まで楽しみ、和やかな雰囲気の中で演奏が終了した。

最後に、仁木会長から明るい社会づくり運動の説明があり、共に善意の輪を広げ、思いやりを大切に明るい社会をつくりましょう。との挨拶があり、最後に恒例の「ふるさと」を全員で合唱してコンサートは終了した。



(2) 諸団体との連携

① 明社人みんなでゴミ拾い 2019

報告書提出のチラシを送付し、実施報告を機関誌「はーとふる」秋号に掲載した。
参加人数は、44 都道府県 7,005 人。

② ラオスに井戸を贈る運動

JVC（日本国際ボランティアセンター）からの協力要請を受け、未使用ハガキによる『ラオスに井戸を贈る運動』を継続、機関誌・ホームページ・Facebook 等を通じて会員に呼びかけた。
2019 年度（4～3 月）の集計枚数は、12,059 枚のハガキが集まり、JVC に送った。

ご協力、有難うございます

未使用ハガキで国際協力

ラオスに井戸を贈る運動

ご報告 第1弾
4村に深井戸1基ずつ設置しました

特定非営利活動法人明るい社会づくり運動（全国明社、砂川敬文理事長）は、日本国際ボランティアセンター（JVC）からの協力要請を受け、昨夏より「ラオスに井戸を贈る運動」に着手してきました。

平成28年3月末までに、全国から20,567枚の未使用ハガキが寄せられ、JVCに送付しました。そのうち、平成27年度の井戸設置事業として、ナトゥー村とボンボック村に深井戸（1か）を、ボンボック村とドンサン村に深井戸（大）を、それぞれ1基ずつ設置しました。＊現地のハガキは平成28年度の井戸設置に使用されます。

全国明社に寄せられた未使用ハガキの多くは、各地の地区福祉並びに協力団体からですが、全国明社のホームページや地区福祉が呼びかけたチラシを見て送ってくださった方も多く、ハガキとともに、この国際支援活動の意義と長期的な継続を望む手紙もいただきました。

全国明社は今後もJVCと連携して「ラオスに井戸を贈る運動」に取り組みます。未使用ハガキは随時受け付けていますので、全国明社にお寄せください。



③ アフリカへ毛布をおくる運動の推進アフリカへ毛布をおくる運動の後援団体及び監事役として、推進員会に出席した。

アフリカへ毛布をおくる運動

皆さまのご協力により、これまでアフリカ27ヶ国以上、411万人以上の方々に毛布をお届けすることができました。また、昨年は24,688枚、海外輸送協力金24,052,370円のご支援をいただきました。誠にありがとうございます。

参加には2通りの方法があります

① 毛布+海外輸送協力金
あなたの毛布が日本を出発して現地の人の手に届けるまでに、一枚あたり1,000円がかかります。あなたの毛布を現地に届けるために、海外輸送協力金にもぜひご協力ください。

② 海外輸送協力金のみ
毛布を現地に届けるために、海外輸送協力金のみも受け付けております。

毛布はこうして現地に届きます
～あなたの協力金によって輸送は成り立っています～

1 全国から毛布と海外輸送協力金が集められます
2 毛布は倉庫で再梱包されます
3 船でアフリカまで運ばれます
4 港に到着後、各地に内陸輸送されます
5 NGOや国際機関等によって配付されます

ご注意
● 破れたり汚れがひどい毛布、縮減布、シングルサイズ以下の毛布はご遠慮ください
● 使用した毛布は、必ずクリーニングか洗濯を依頼します
● 毛布以外の他の物資（ふとん、寝かす、タオルケット、シーツ等）はお送りしていません
（お問い合わせ先）アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会事務局 公式サイト www.mofu.org/ / E-mail info.JBAC@mofu.org/ / TEL 0570-084-408

毛布送付先
〒231-0811 横浜市中区本牧埠頭3番地8号棟
本牧埠頭日貨物センター
【日通 本牧毛布係宛て】
TEL: 045-622-1516
※日本通運発着までの送料は、負担ください。送料は2倍です。

海外輸送協力金のご協力方法
1 付属の払込取扱票にてお払ください。
2 金融機関からのお振込 下記口座まで、お振込ください。
ゆうちょ銀行 〇ー九店（ゼロイチキウ店）
当座 0351756 アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会
※送附ですが、手数料はご負担ください。

アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会
（構成団体）特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構
特定非営利活動法人 JHP 学校をつくる会
特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター（JVC）
公益財団法人
（後援団体）外務省
特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画（WFP）日本
信託義民協賛会（JRFICF）駐日事務所
特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動
（協力団体）日本通運株式会社

7. 青少年交流事業

明社レンジャー活動

地区明社や協力団体からの要請を受け、「耀！連隊 明社レンジャー」を出動させ、市民との交流活動を行い、本運動のPRを行った。

(1) 出動状況 (2 件)

4 月 27 日 (土) 明るい社会づくり運動提唱 50 周年記念大会で広報・交流活動
(東京都港区)

10 月 6 日 (日) 立正佼成会本部「お会式一乗まつり」で広報・交流活動
(東京都杉並区)

(2) 衣装の貸出 (7 件)

5 月 5 日 (日) 立正佼成会宇部教会「青年の日」(山口県宇部市)

5 月 19 日 (日) 立正佼成会江戸川教会「ふれあいフェスタ」(東京都江戸川区)

6 月 30 日 (日) 千代田明るい社会づくりの会「総会・講演会」(東京都千代田区)

9 月 8 日 (日) 立正佼成会市原教会「55 周年記念イベント」(千葉県市原市)

11 月 24 日 (日) 佐賀明社主催「第 8 回いのちの日フェスティバル」(佐賀県佐賀市)

11 月 30 日 (土) 立正佼成会長野中央教会「ドリームランチ」(長野県長野市)

12 月 22 日 (日) 立正佼成会越谷教会「少年部クリスマス会」(埼玉県越谷市)

8. 地域協力事業

東日本大震災およびその他の災害において、当該地区明社等と協働し、復興支援に取り組んだ。

全国各地から寄せられた植樹基金を基に、支援要請のある復興地に桜等の植樹を行った。また、仮設住宅・復興団地等に「花植え」を行った。

(1) 災害ボランティア活動

□「南三陸ホテル再生プロジェクト」

①実施日：令和元年 5 月 11 日 (土)～12 日 (日)

会 場：宮城県本吉郡南三陸町切曾木

内 容：仙台明社萩谷氏、上尾明社中山氏、事務局の 3 名と現地実行委員 3 名で、カワニナ、平家ホテルの幼虫を放流した。

②実施日：令和元年 6 月 29 日 (土)～30 日 (日)

会 場：宮城県本吉郡南三陸町切曾木

スタッフ：仙台明社、地元実行委員 18 名

内 容：ホテルの採取と放流を行った。

□復興住宅「クリスマス会」

実施日：令和元年 12 月 22 日 (日)

会 場：仙台市落合復興住宅

内 容：参加した親子が、思い思いのケーキを作りコンサートを楽しんだ。

□「餅つき&キムチづくり」コミュニケーション

実施日：令和元年 12 月 28 日 (日)

会 場：宮城県本吉郡南三陸町歌津地区

内 容：お餅 60 キロ、キムチ 200 世帯分を作り、日頃、部屋にこもりきりがちな住民方とコミュニケーションづくりを行った。

(2) 植樹活動

①南三陸子ども交流ツアー植樹

実施日：令和元年 8 月 5 日 (日)

会 場：宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 ひころの里

参加数：43 人 (子供 16 人、大人 27 人)

内 容：明るい社会づくり運動埼玉県協議会 (加藤玄静会長) は、今年 5 回目となる「子ども交流バスツアー」を実施し、「ひころの里」にさつきを植樹した。全国明社よりさつきの苗 43 本を提供した。

(3) 子供支援活動

宮城県気仙沼市唐桑町に建設された「はやまのふもと」は、地域教育の拠点づくりプロジェクトとして、東日本大震災後、唐桑町に移住した若者(ボランティア)が中心となり、まちづくり協議会や地元住民、中高生自ら空き店舗を改装し、今年7月28日に中高生の集いの場としてオープン。この建設費(材料費)は、全国明社が支援した。



9. 人材養成事業

地域社会に貢献できる防災等のボランティアリーダーの育成を図る。
今年度の教育は、「災害」をテーマに行った。

(1) 明社志民カレッジ

参加者：10人(青森、秋田、山形、岩手、宮城、沖縄)事務局スタッフ：4人

第1回

開催日：令和元年6月29日(土)～30日(日)

会場：国立岩手青少年交流の家

内容：1日目

- ①「津波の基礎」「復興の現状と課題」…斎藤徳美 岩手大学名誉教授
- ②情報交換会(夕食後)

2日目

- ①東日本大震災及び熊本地震から学ぶ
…蒲生 哲 NPO 法人陸前高田八起プロジェクト代表
- ②レポート作成



第2回

開催日：令和元年9月7日(土)～8日(日)

会場：国立岩手青少年交流の家

内容：1日目

- ①「災害支援のあり方」…工藤和徳 盛岡市地域社会福祉課長
- ② ケーススタディ「避難所の運営」
…金野万里 もりおか復興支援センター長
前田達明 もりおか復興支援センター相談員
- ③情報交換会(夕食後)

2日目

- ①「災害から学ぶ救命入門」…盛岡市広域消防滝沢消防署北出張所
※講習後、受講生全員「普通救命講習Ⅰ修了証」を取得
- ②レポート作成



第3回

開催日：令和元年11月23日(土)～24日(日)

会 場：宮城県仙台市、気仙沼市唐桑町

内 容：1日目

①宮城県気仙沼市唐桑町に建設された「はやまのふもと」を視察。

2日目

① 「めいしゃのもり」の清掃、管理状況の確認

②東日本大震災の被災者でもある石巻明社事務局長相澤規雄氏 から、
震災体験とともに災害時の対応などを学んだ。(於：斎藤会長事務所)



令和元年度 予実対比表 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：円)

	予算	実績	差異
Ⅰ 経常収入の部			
1・会費収入	4,400,000	3,557,000	-843,000
①運営会費	650,000	610,000	-40,000
②個人賛助会費	1,950,000	1,437,000	-513,000
③団体賛助会費	1,800,000	1,510,000	-290,000
2. 事業収入	410,000	483,000	73,000
①全国都道府県会議参加費	350,000	425,000	75,000
②人材養成講座参加費	60,000	58,000	-2,000
3. 補助金収入	7,000,000	7,000,000	0
①協力団体	7,000,000	7,000,000	0
②その他			
4. 寄付金収入(一般・指定)	300,000	555,400	255,400
5. 雑収入	2,000	3,777	1,777
6. 前期繰越金からの繰入	10,126,487	3,017,701	-7,108,786
7. 基金からの繰入	3,737,400	2,944,397	-793,003
8. 子ども支援基金からの繰入	2,411,464	924,114	-1,487,350
9. 熊本支援基金からの繰入	1,399,049	0	-1,399,049
10. 桜苗木基金からの繰入	599,824	86,000	-513,824
経常収入合計(A)	30,386,224	18,571,389	-11,814,835

	予算	実績	差異
Ⅱ 経常支出の部			
1・事業費			
シンポジウム事業 (全国都道府県会議)	3,483,000	3,481,225	-1,775
啓発・普及運動事業 (明社ミテイング)(講師派遣と相談)	2,375,000	568,134	-1,806,866
情報収集・提供事業費 (機関誌はーとふる)(広報ツール)	3,640,000	2,581,669	-1,058,331
ネットワーク管理・推進事業費(Web)	880,000	429,498	-450,502
調査・研究事業費	700,000	73,192	-626,808
諸団体協働事業費 (地域協働事業)(諸団体との連携)(緊急援助活動)	970,000	575,850	-394,150
青少年交流事業費 (明社レンジャー)	230,000	14,035	-215,965
講演会等事業 (提唱50周年特別記念事業)(全国集会)	3,737,400	3,142,992	-594,408
地域協力事業費 (災害ボランティア)(植樹活動)	6,591,824	1,439,136	-5,152,688
人材養成事業費	1,184,000	930,738	-253,262
事業人件費	0	0	0
事業費合計	23,791,224	13,236,469	-10,554,755
2・管理費			0
管理費	6,595,000	5,334,920	-1,260,080
管理費合計	6,595,000	5,334,920	-1,260,080
経常支出合計(B)	30,386,224	18,571,389	-11,814,835
経常収支差額(A)-(B)	0	0	0
支出合計	30,386,224	18,571,389	-11,814,835

令和元年度 活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
運営会費	610,000		
個人賛助会費	1,437,000		
団体賛助会費	1,510,000	3,557,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金	555,400	555,400	
3 受取助成金等			
受取補助金	7,000,000	7,000,000	
4 事業収益			
	483,000	483,000	
5 その他収益			
受取利息	3,777	3,777	
経常収益計			11,599,177
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会場費	4,769,213		
会議費	99,152		
旅費交通費	3,695,276		
現地活動費	1,182,261		
諸謝金	350,815		
印刷製本費	1,502,718		
消耗品費	336,423		
図書資料費	9,759		
委託費	674,812		
参加費	24,000		
通信運搬費	592,040		
雑費	0		
その他経費計	13,236,469		
事業費計		13,236,469	
2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	19,614		
人件費計	19,614		
(2) その他経費			
会議費	179,893		
旅費交通費	959,580		
通信運搬費	601,115		
図書会費	40,000		
消耗品費	515,846		
修繕費	326,489		
消耗什器備品費	0		
印刷製本費	18,560		
光熱水料費	327,257		
リース料	1,216,848		
災害保険料	17,190		
管理諸費	1,107,689		
法人実務費	4,500		
租税公課	0		
支払手数料	0		
雑費	339		
その他経費計	5,315,306		
管理費計		5,334,920	
経常費用計			18,571,389
当期経常増減額			
III 経常外収益			
経常外収益計		0	
IV 経常外費用			
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増減額			-6,972,212
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			-6,972,212
前期繰越正味財産額			88,179,225
次期繰越正味財産額			81,207,013

令和元年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NP0法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NP0法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
該当なし
- (3) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金
該当なし
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当なし
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

2. 事業別損益の状況

科目	シンポジウム 事業	啓発・普及 事業	情報収集提供 事業	ネットワーク管理・ 推進事業	調査・研究 事業	諸団体協働 事業	青少年交流 事業
I 経常収益							
1. 受取会費	600,000	450,000	1,000,000	400,000	0	350,000	0
2. 受取寄附金			149,600				20,800
3. 受取助成金等	200,000	100,000	1,400,000	0	0	100,000	0
4. 事業収益	425,000						
5. その他収益							
経常収益計	1,225,000	550,000	2,549,600	400,000	0	450,000	20,800
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費							
会場費	2,054,000	36,300			0	164,280	0
会議費	0	8,398	47,957	17,810	1,080	0	1,637
旅費交通費	1,427,225	511,880	419,524	6,320	41,360	181,320	680
現地活動費							
諸謝金	0	0	200,466		0	0	0
印刷製本費	0	11,556	1,304,615	0	0	158,782	0
消耗品費	0	0	97,238	3,196	0	690	7,985
図書資料費	0	0	3,159	0	6,600	0	0
委託費			0	394,312	0		
参加費					24,000		
通信運搬費	0	0	508,710	7,860	152	70,778	3,733
図書会費							
修繕費							
消耗什器備品費							
光熱水料費							
リース料							
災害保険料							
管理諸費							
法人実務費							
租税公課							
支払手数料							
雑費	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	3,481,225	568,134	2,581,669	429,498	73,192	575,850	14,035
経常費用計	3,481,225	568,134	2,581,669	429,498	73,192	575,850	14,035
当期経常増減額	-2,256,225	-18,134	-32,069	-29,498	-73,192	-125,850	6,765

講演会等 事業	地域協力 事業	人材養成 事業	事業部門合計	管理部門	合計
0	200,000	500,000	3,500,000	57,000	3,557,000
150,000			320,400	235,000	555,400
0	100,000	100,000	2,000,000	5,000,000	7,000,000
		58,000	483,000		483,000
			0	3,777	3,777
150,000	300,000	658,000	6,303,400	5,295,777	11,599,177
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	19,614	19,614
0	0	0	0	19,614	19,614
2,292,654		221,979	4,769,213		4,769,213
19,570	0	2,700	99,152	179,893	279,045
451,340	38,720	616,907	3,695,276	959,580	4,654,856
	1,182,261		1,182,261		1,182,261
66,822	0	83,527	350,815		350,815
22,140	0	5,625	1,502,718	18,560	1,521,278
9,159	218,155		336,423	515,846	852,269
0	0	0	9,759		9,759
280,500			674,812		674,812
			24,000		24,000
807	0	0	592,040	601,115	1,193,155
			0	40,000	40,000
			0	326,489	326,489
				0	
			0	327,257	327,257
			0	1,216,848	1,216,848
			0	17,190	17,190
			0	1,107,689	1,107,689
			0	4,500	4,500
			0	0	0
				0	
0	0	0	0	339	339
3,142,992	1,439,136	930,738	13,236,469	5,315,306	18,551,775
3,142,992	1,439,136	930,738	13,236,469	5,334,920	18,571,389
-2,992,992	-1,139,136	-272,738	-6,933,069	-39,143	-6,972,212

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

該当なし

(単位：円)

内容	金額	算定方法		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は81,207,013円ですが、そのうち3,400,223円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は77,806,790円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
災害支援事業1 (子ども支援寄付金)	2,411,464	0	924,114	1,487,350	来期の活動資金として使用予定
災害支援事業1 (熊本地震支援寄付金)	1,399,049	0	0	1,399,049	来期の活動資金として使用予定
災害支援事業2 (植樹活動)	599,824	0	86,000	513,824	来期の活動資金として使用予定
合計	4,410,337	0	1,010,114	3,400,223	

5. 固定資産の増減内訳

該当なし

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 車両運搬具 什器備品 無形固定資産 投資その他の資産 敷金 合計						

6. 借入金が増減内訳

該当なし

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

該当なし

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
活動計算書計		
(貸借対照表)		
貸借対照表計		

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法

該当なし

- その他の事業に係る資産の状況

該当なし

令和元年度 貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	81,223,751		
前払費用	0		
流 動 資 産 合 計		81,223,751	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具	0		
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
電話加入権	0		
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固 定 資 産 合 計		0	
資 産 合 計			81,223,751
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	0		
前受金	10,000		
預り金	6,738		
流 動 負 債 合 計		16,738	
2 固定負債			
長期借入金	0		
退職給与引当金	0		
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			16,738
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		88,179,225	
当期正味財産増減額		-6,972,212	
正味財産合計			81,207,013
負債及び正味財産合計			81,223,751

令和元年度 財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	41,497	
みずほ銀行普通預金	51,125,752	
みずほ銀行定期預金	30,040,926	
郵便貯金	15,576	
前払費用	0	
流 動 資 産 合 計		81,223,751
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	0	
什器備品	0	
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産計		
投資有価証券	0	
投資その他の資産計	0	
固 定 資 産 合 計		0
資 産 合 計		81,223,751
II 負債の部		
1 流動負債		
(1) 未払費用	0	
(2) 前受金		
令和2年度団体賛助会費1口	10,000	
	10,000	
(2) 預り金		
給与源泉所得税	0	
報酬源泉所得税	6,738	
報酬・料金源泉所得税	0	
	6,738	
流 動 負 債 合 計		16,738
2 固定負債		
長期借入金		
銀行借入金	0	
固 定 負 債 合 計		0
負 債 合 計		16,738
正 味 財 産		81,207,013

監 査 報 告 書

令和 2 年 5 月 17 日

特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動
理 事 長 砂 川 敏 文 殿

1. 監査手続の概要

監事は、「特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動」に関する定款第 15 条により、同法人の第 19 期（即ち自平成 31 年 4 月 1 日至令和 2 年 3 月 31 日）の令和元年度特定非営利活動に係る事業の会計、「財産目録」「貸借対照表」「活動計算書」の監査を行いました。

この監査に当っては、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して、監査手続を実施しました。

また、同法人の個人情報保護規程（平成 19 年 4 月 1 日施行）第 27 条により、監査責任者として個人情報管理の監査を実施しました。

2. 監査の結果

令和元年度特定非営利活動に係る事業の会計、「財産目録」「貸借対照表」「活動計算書」は、法令及び定款に従い、「特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動」の収入、支出並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。また、個人情報の管理が個人情報保護方針および個人情報保護規程に従い、適正に実施されていることを認めます。

3. 「令和元年度事業報告書」の内容に相違ないことを認めます。

監 事 槇 ひさ恵

監 事 大石 雅也



(3) 監事選任について

定款第 14 条第 5 項には、「監事は総会で選任する」とあり、令和 2 年第 1 回理事会(5 月 17 日)に於いて、楨ひさ恵監事の退任に伴い、監事候補が推薦されたのでご検討ください。

〔審議事項3〕

監事候補 佐藤 武男

理事会推薦の監事候補をご承認いただきますようお願い申し上げます。

(4) 東京都・法務局等への提出・申請書類の字句修正付託の件

都提出書類の細かな字句修正については、事務局に付託する。

4. 報告事項

令和2年度 事業計画

1－運営に関する事項

1. 第20回「通常総会」の開催

と き：令和2年6月20日(土)……書面表決

ところ：法人事務所(東京都中央区)

- (1) 令和元年度事業報告・決算の承認
- (2) 令和2年度事業計画・予算の報告
- (3) その他

2. 理事会の開催

●第1回 理事会

と き：令和2年5月17日(日)…書面表決

ところ：法人事務所(東京都中央区)

- (1) 通常総会の資料の決定
- (2) 明社運動の方向性とその在り方
- (3) その他

●第2回 理事会

と き：令和2年9月12日(土)9時30分～16時

ところ：法人事務所(東京都中央区)

- (1) これからの運動のあり方について
- (2) 人材育成について
- (3) その他

●第3回 理事会

と き：令和2年11月28日(土)10時～29日(日)15時

ところ：法人事務所(東京都中央区)

- (1) 事業の中間報告
- (2) 次年度事業計画について
- (3) 法人運営について
- (4) その他

●第4回 理事会

と き：令和3年2月13日(土)9時30分～16時

ところ：法人事務所(東京都中央区)

- (1) 次年度事業計画・予算案
- (2) 決算見込みについて
- (3) 法人の課題について
- (4) その他

2-事業実施の方針

1. 提唱 51 年目を迎え、新たな運動の広がりを目指し、本来の運動の目的とあり方(組織と活動)を全国の地区明社に周知していく。
2. 東日本大震災の発生から 10 年目を迎え、これまでの災害支援の総括と、新たな支援体制のあり方を構築する。
3. 全国明社の運営については、賛助・団体会員の拡大を目指すとともに、他団体からの支援・協力を得られるような全国明社のあり方を再考する。
4. 国際支援活動については、「ラオスに井戸を贈る運動」や「アフリカへ毛布をおくる運動」等を引き続き、都道府県・地区明社と連携して実施するものとする。

1. ネットワーク推進事業 1…全国都道府県会議

目 的：明社運動の方向性や事業のあり方を共有し、全国都道府県の方々と意見・情報交換を行い、より一層の繋がりを図ることを目的に開催する。

※本年は、新型コロナウイルス感染拡大により、集合時期の不確定や会場確保の困難な現状を鑑み中止とし、来年度開催の為の準備を行う。

ネットワーク推進事業 2…明社ミーティング

目的：時代にあった市民活動のあり方などを研鑽し、情報交換並びに意見交換を通して、これからの運動を確認する。

会 場：4 会場（招聘地）

日 程：1 泊 2 日または日帰り

対 象：複数県および県単位とする。複数地区明社開催も可。

参加人数：1 会場-45 人

助 成 費：宿泊を伴う場合 1 人 2,000 円の助成

ネットワーク推進事業 3…講師派遣と相談サービス

目的：本運動の推進を図るため、都道府県・地区明社および各種団体に対し、講師を派遣する。また、運動の啓発や事業実施の相談等に応える。

ネットワーク推進事業 4…諸団体との連携

目的：各種 N P O / N G O 団体が実施する事業等に参加し、本運動との連携を図る。

内容：(1) 日本国際ボランティアセンターと協働し「ラオスに井戸を贈る運動」への協力を呼び掛ける。

(2) アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会への協力・支援を行う。

2. 広報事業 1…機関誌『はーとふる』の発行

目的：本運動の推進に役立つ情報を提供し、都道府県ならびに地区明社への支援に寄与する。

計画内容：●発行時期：春号(4 月)、夏号(7 月)、秋号(10 月)、冬号(1 月)

●発行部数：8,000 部(装丁：A4 版 16 頁～20 頁、カラー刷り)

●年間企画は、理事会の意見をもとに検討し、紙面の充実を図る。

広報事業 2…Web 等の IT

目的：インターネットを用いて、本運動の団体紹介や事業情報を迅速かつ広範に公開する。あわせて、都道府県ならびに地区明社の団体紹介や活動報告を掲載し、活動事例の紹介を行う。

計画内容：●ホームページで都道府県・地区明社の団体紹介、イベント情報等を適宜更新する。

●ホームページで全国明社の各種事業案内と報告を行う。

●メールマガジンを適宜発行し、情報の更新案内をする。

●フェイスブックを使い、即時の情報発信を行う。

広報事業 3…明社レンジャー

目的：地区明社や市民団体等の要請に応え、青少年の参加を募り「耀！連隊 明社レンジャー」のショーを行い、次代を担う子どもたちやその保護者を中心に、平和の大切さや市民によるまちづくりを啓発する。

計画内容：(1) 要請に応え、衣装の貸し出し、ショーやイベントに出演し広報援助を行う。

(2) 機関誌やホームページに衣装の貸出の案内を掲載し、本運動の PR に役立ててもらおう。

広報事業 4…広報ツールの開発

目的：①本運動を広く地域社会に伝えていくためのツールを開発する。

②IT ネットワークの構築をする。

3. 調査・研究事業

目的：社会貢献に顕著な実績のある諸団体の活動を学び本運動との協働などについて調査研究を行う。

計画内容：(1) 地区明社の情報収集

「全国組織一覧」や収集したデータをもとに地区明社の状況を確認し、本法人に望むサービス等の調査を行い、団体賛助会員の拡大に努める。

また、地区明社の情報(発行物等)を収集し、事務局で閲覧できるよう管理すると共に、各県にも情報を提供する。

(2) 情報収集 1

各種団体主催のセミナーへの参加

(3) 情報収集 2

書籍による情報収集、各種団体の刊行物購読による情報収集

4. 地域協働事業

目的：地域活性化への支援を目的として、全国明社と都道府県・地区明社が協働して事業を行い、都道府県・地区明社が地元とのつながりを持つ契機とする。

計画内容：(1) 各種団体、行政など地域と共に、活動している地区明社の事業を支援する。

(2) 地区明社と協働して青少年(キッズ、ジュニア、青年)育成を目指した活動を開発する。

(3) 昨年に引き続き「全国清掃キャンペーン・明社人 みんなでゴミ拾い 20 20」を実施し、機関誌で集計結果を発表し、都道府県・地区明社の連帯と一体感を深める。

5. 集会事業 1…全国集会

目 的：本運動の推進者が一堂に会し提唱の理念を確認すると共に、情報交換・草の根運動に関する研鑽を行い、より深く本質的な運動を展開する為の出会いと学びの場とする。

日 程：令和 2 年 11 月 7 日～8 日 (1 泊 2 日)

会 場：阿波観光ホテル

定 員：180 人

参加費：16,000 円 (集会・懇親会・宿泊含)

内 容：テーマ「ライフサイクルの革命」

—あなたの生活が未来を拓く・平和は一人ひとりの思いやり—

6. 災害支援事業 1…ボランティア活動

目 的：東日本大震災およびその他の災害において、当該地区明社等と協働し、復興支援に取り組む。

計画内容：(1) 仮設住宅および復興住宅コミュニティづくりを、自治会等と協力し行う。

(2) 独居および高齢者の参加を意識したイベントを実施する。

(3) 子ども支援基金をもとに、子どもたちへの支援を行う。”

災害支援事業 2…東日本大震災復興植樹活動

目 的：全国各地から寄せられた植樹基金を基に、支援要請のある復興地に桜等の植樹を行う。また仮設住宅・復興団地等に「花植え」を行う。

計画内容：被災地の要請に応じて花植え、植樹を行う

災害支援事業 3…緊急援助活動

目 的：緊急援助事業の協定団体である AMDA (特定非営利活動法人アムダ) や諸団体の要請に応じて、必要物資の調達・運搬等の後方支援を行う。

7. 人材養成事業

目 的：地域社会に貢献できる明社リーダーの育成を図る。

また、前年参加者のフォロー教育を行う。

〔ファローアップ教育〕

会 場：国立岩手山青少年交流の家

日 程：令和 2 年度中にフォロー教育を 1 回実施

※今年度の「明社志民カレッジ」は中止 (全国都道府県会議中止の理由と同等)

令和2年度(2020年度) 収支予算書(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	予算差異
Ⅰ 経常収入の部			
1・会費収入	4,400,000	3,461,000	-939,000
①運営会費	650,000	590,000	
②個人賛助会費	1,950,000	1,401,000	
③団体賛助会費	1,800,000	1,470,000	
2. 事業収入	410,000	2,560,000	2,150,000
①全国都道府県会議参加費	350,000	0	
②全国集会参加費	0	2,560,000	
③人材養成講座参加費	60,000	0	
3. 補助金収入	7,000,000	7,000,000	0
①協力団体	7,000,000	7,000,000	
②その他	0	0	
4. 寄付金収入(一般・指定)	300,000	150,000	-150,000
5. 雑収入	2,000	500	-1,500
6. 前期繰越金からの繰入	10,126,487	14,974,101	4,847,614
7. 基金からの繰入	3,737,400	0	-3,737,400
8. 子ども支援基金からの繰入	2,411,464	1,487,350	-924,114
9. 熊本支援基金からの繰入	1,399,049	1,399,049	0
10. 桜苗木基金からの繰入	599,824	513,824	-86,000
経常収入合計(A)	30,386,224	31,545,824	1,159,600

Ⅱ 経常支出の部	令和元年度	令和2年度	予算差異
1・事業費			
ネットワーク推進事業費1 (全国都道府県会議)	3,483,000	320,000	-3,163,000
ネットワーク推進事業費2 (明社ミーティング)	2,375,000	1,140,000	-1,235,000
ネットワーク推進事業費3 (講師派遣と相談サービス)		1,032,000	1,032,000
ネットワーク推進事業費4 (諸団体との連携)		200,000	200,000
広報事業費1 (機関誌)	3,640,000	3,520,000	-120,000
広報事業費2 (WEB)	880,000	675,000	-205,000
広報事業費3 (明社レジャー)	230,000	810,000	580,000
広報事業4 (広報ツール)		2,500,000	
調査・研究事業費	700,000	550,000	-150,000
地域協働事業費	970,000	820,000	-150,000
集会事業費1 (全国集会)		6,010,000	6,010,000
集会事業費2 (提唱50周年特別記念事業)	3,737,400	0	-3,737,400
災害支援事業費1 (ボランティア活動)	6,591,824	4,210,000	-2,381,824
災害支援事業費2 (植樹活動)		513,824	513,824
災害支援事業費3 (緊急援助活動)		0	0
人材養成事業費	1,184,000	370,000	
事業人件費	0	0	0
事業費合計	23,791,224	22,670,824	-1,120,400
2・管理費			
管理費	6,595,000	8,875,000	2,280,000
管理費合計	6,595,000	8,875,000	2,280,000
経常支出合計 (B)	30,386,224	31,545,824	1,159,600
経常収支差額 (A) - (B)	0	0	0

令和2年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書(科目詳細)

	金 額 (単位:円)			計算式 等
I 経常収入の部				
1 会費収入				
・運営会費	590,000			
・個人賛助会費	1,401,000			
・団体賛助会費	1,470,000	3,461,000		
2 事業収入				
・集会事業収入	2,560,000	2,560,000		
3 補助金収入				
・民間助成金収入	7,000,000			協力団体より
・その他の助成金収入	0	7,000,000		
4 寄付金収入				
・寄付金収入	150,000	150,000		事業への指定寄付を含む
5 雑収入				
・受取利息	500	500		預金利息
6 繰越金より繰入				
・繰越金より	14,974,101			
・基金より	0			
・子ども支援寄付金より	1,487,350			
・熊本支援寄付金より	1,399,049			
・植樹寄付金より	513,824	18,374,324		
経常収入合計(A)			31,545,824	

	金 額 (単位:円)			計算式 等
II 経常支出の部				
1 事業費				
・ネットワーク推進事業1(全国都道府県会議)				
会場費				会場使用料・懇親会・会場備品等
旅費交通費	150,000			参加者補助・会議交通費他
会議費	100,000			
通信運搬費	20,000			開催通知等発送費
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	50,000			資料印刷
諸謝金	0			
雑費	0	320,000		
・ネットワーク推進事業2(明社ミーティング)				
会場費	580,000			会場使用料・懇親会等 5会場
旅費交通費	408,000			当日 5会場
会議費	0			
通信運搬費	6,000			資料発送
消耗品費	16,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	10,000			資料作成
諸謝金	120,000			講師料 5会場
雑費	0	1,140,000		
・ネットワーク推進事業3(講師派遣と相談サービス)				
会場費	0			
旅費交通費	1,000,000			25回
会議費	10,000			
通信運搬費	10,000			資料発送
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	12,000			資料作成
諸謝金	0			
雑費	0	1,032,000		
・ネットワーク推進事業4(諸団体との連携)				
会場費	0			
旅費交通費	85,000			会議参加費
会議費	70,000			礼状発送等
通信運搬費	20,000			
消耗品費	5,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	20,000			
諸謝金	0			
雑費	0	200,000		

・広報事業1(機関誌)				
機関誌制作費	1,840,000			機関誌デザイン・印刷
旅費交通費	700,000			取材交通費
会議費	70,000			
通信運搬費	600,000			会員・贈呈者等発送
消耗品費	20,000			
図書資料費	50,000			資料購入等
諸謝金	240,000			原稿料等
雑費	0	3,520,000		
・広報事業2(WEB)				
委託費	440,400			HP委託管理・新規コンテンツ制作
旅費交通費	200,000			取材交通費
会議費	20,000			取材打合せ等
通信運搬費	0			インターネット
消耗品費	10,000			メディア等消耗品
図書資料費	4,600			
諸謝金	0			
雑費	0	675,000		
・広報事業3(明社レンジャー)				
会場費	0			
旅費交通費	100,000			
会議費	15,000			
通信運搬費	20,000			
消耗品費	650,000			マスク補修等
図書資料費	20,000			
印刷製本費	0			
諸謝金	0			
雑費	5,000	810,000		
・広報事業4(広報ツール)				
委託費	1,450,000			
会議費	0			
旅費交通費	0			
通信運搬費	250,000			
消耗品費	0			
図書資料費	0			
印刷製本費	800,000			資料作成
諸謝金	0			
雑費	0	2,500,000		
・調査・研究事業				
会場費	0			
旅費交通費	420,000			セミナー等参加交通費
会議費	60,000			
通信運搬費	20,000			
消耗品費	5,000			地区明社情報収集用
図書資料費	25,000			情報収集用書籍等
印刷製本費	0			
委託費	0			
参加費	20,000			セミナー参加費等
諸謝金	0			
雑費	0	550,000		
・地域協働事業				
会場費	380,000			
旅費交通費	250,000			
会議費	10,000			
通信運搬費	20,000			
消耗品費	10,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	150,000			チラシ等作製
諸謝金	0			
雑費	0	820,000		
・集会事業1(全国集会)				
会場費	3,579,000			宿泊・懇親・看板・プロジェクター等
旅費交通費	1,690,000			役員・スタッフ、参加者バス代
会議費	40,000			
通信運搬費	0			
消耗品費	11,000			
図書資料費	0			
印刷製本費	500,000			チラシ・報告集
諸謝金	190,000			
雑費	0	6,010,000		

・災害支援事業1(ボランティア活動)					
現地活動費	3,536,399				熊本支援・子ども支援・プログラム運営・機材等
旅費交通費	350,000				ボランティア・スタッフ交通費
会議費	50,000				ボランティア・スタッフ食事代
通信運搬費	5,601				
消耗品費	150,000				食材等
図書資料費	0				
印刷製本費	0				
諸謝金	115,000				
雑費	3,000	4,210,000			ボランティア保険
・災害支援事業2(植樹活動)					
現地活動費	513,824				
旅費交通費	0				
会議費	0				
通信運搬費	0				
消耗品費	0				
図書資料費	0				
印刷製本費	0				
諸謝金	0				
雑費	0	513,824			
・災害支援事業3(緊急援助活動)					
現地活動費	0				
旅費交通費	0				
会議費	0				
通信運搬費	0				
消耗品費	0				
図書資料費	0				
印刷製本費	0				
諸謝金	0				
雑費	0	0			
・人材養成事業					
会場費	800				フォロー教育会場費
旅費交通費	200,000				調査等交通費
会議費	127,160				フォロー教育宿泊費等
通信運搬費	8,000				
消耗品費	4,040				
図書資料費	30,000				
印刷製本費	0				
諸謝金	0				
雑費	0	370,000			
・事業人件費					
給料手当	0	0	22,670,824		
2 管理費					
・主たる事務所の管理費					
給料手当	0				
福利厚生費	90,000				
会議費	280,000				総会・理事会会場費他
広報費	0				
旅費交通費	1,630,000				理事会・総会 日帰り交通費
通信運搬費	600,000				電話・宅急便・メール便・振込手数料・払込手数料等
図書会費	55,000				
消耗什器備品費	0				
消耗品費	400,000				事務用品・ゴミ処理券等
修繕費	420,000				コピー機パフォーマンス料他
印刷製本費	20,000				
光熱水料費	426,000				電気・水道
リース料	1,220,520				コピー機、電話機、会計ソフト他
災害保険料	17,190				家財保険・動産保険加入
管理諸費	2,858,810				会計顧問料他
法人実務費	4,000				
租税公課	0				
支払手数料	847,800				
雑費	5,680	8,875,000	8,875,000		残高証明手数料等
経常支出合計 (B)				31,545,824	
経常収支差額 (A)－(B)				0	

その他

① 役員変更について

定款第 16 条〔任期等〕に、「役員の任期は、2 年とする。但し、特段の事情がない限り、3 期 6 年を超えて再任することはできない。」との条項から本年 6 月末をもって任期満了の役員が 5 人おります。対象は、以下の方々です。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1 砂川敏文 (理事長) | 2 佐藤武男 (理事) | 3 細井利恵 (理事) |
| 4 城塚和江 (理事) | 5 槇ひさ恵 (監事) | |

また、令和 2 年第 1 回理事会に於いて、砂川敏文理事長の退任に伴い新理事長に令和 2 年 7 月 1 日を以て秋葉忠利理事が就任することが承認されました。ここに、ご報告いたします。

② 委任状および書面表決について

新型コロナウイルスの流行に伴い、感染拡大防止の為、この度の第 20 回総会は、委任状および書面表決とさせていただきます。

当法人も、最少総会での総会開催が初めてであり、運営会員の意思確認は委任状および書面表決書となります。

つきましては、ご多忙の中とは存じますが、必ず委任状若しくは書面評決書のご返送をお願い致します。

〔書面評決票の記入について〕

- (1) 表決日 (記入日) をご記入ください。
- (2) 氏名を必ずご記入ください。
- (3) 承認・不承認のどちらかに○印をお付けください。
- (4) 不承認の場合は、理由を簡潔に表決書の裏にご記入ください。
- (5) 委任状若しくは表決書は、6 月 8 日 (月) までに同封の封筒にてご返送くださるようお願いいたします。

以上

